

授業科目名	人間機能学(形態と機能)	担当教員	◎大石昌也、橋本裕二
必修	開講年次：1年後期	単位：4単位	授業形態：講義 45時間、実験 30時間

### 【授業概要】

人体で営まれている生命現象を3つの群、①生命を維持する働き（植物機能）と、②生命を活用する働き（動物機能）、そして③人体を保護して種を保存する機能（防御機能）に区別した視点から、解剖学と生理学を連携させながら学ぶ。実験室においては、動物の標本の解剖やコンピューターシミュレーションモデルを使って、構造を学習する。

### 【授業目的・目標】

人間の正常な形態と機能を関連しながら理解する。

### 【履修条件】

生物学を修得していること。

### 【授業計画】

[01] 授業ガイダンス、人体の基本構造と機能、細胞と組織（体を構成するしくみ） 1	(大石)
[02] 細胞と組織（体を構成するしくみ） 2	(大石)
[03] 骨格系（体を支えるしくみ） 1	(大石)
[04] 骨格系（体を支えるしくみ） 2	(大石)
[05] 筋系（体を動かすしくみ） 1	(大石)
[06] 筋系（体を動かすしくみ） 2	(大石)
[07] 消化器系（消化・吸収・排泄のしくみ） 1	(大石)
[08] 消化器系（消化・吸収・排泄のしくみ） 2	(大石)
[09] 消化器系（消化・吸収・排泄のしくみ） 3	(大石)
[10] 呼吸器系（外呼吸と内呼吸のしくみ） 1	(大石)
[11] 呼吸器系（外呼吸と内呼吸のしくみ） 2	(大石)
[12] 循環器系（血液を送るしくみ） 1	(大石)
[13] 循環器系（血液を送るしくみ） 2	(大石)
[14] 循環器系（血液を送るしくみ） 3	(橋本)
[15] 血液の組成と機能	(大石)
[16] 生体の防御機構（免疫のしくみ）	(大石)
[17] 腎泌尿器系（尿をつくるしくみ） 1	(大石)
[18] 腎泌尿器系（尿をつくるしくみ） 2	(大石)
[19] 内分泌系（内部環境を整えるしくみ） 1	(大石)
[20] 内分泌系（内部環境を整えるしくみ） 2	(大石)
[21] 内分泌系（内部環境を整えるしくみ） 3	(大石)
[22] 生殖器系（子孫を残すしくみ） 1	(大石)
[23] 生殖器系（子孫を残すしくみ） 2	(大石)
[24] 神経系（感覚・統合・運動のしくみ） 1	(大石)
[25] 神経系（感覚・統合・運動のしくみ） 2	(大石)
[26] 神経系（感覚・統合・運動のしくみ） 3	(大石)
[27] 神経系（感覚・統合・運動のしくみ） 4	(大石)
[28] 感覚器系（外部情報を取り入れるしくみ） 1	(大石)
[29] 感覚器系（外部情報を取り入れるしくみ） 2	(大石)
[30] 感覚器系（外部情報を取り入れるしくみ） 3	(大石)

### 【教科書】

1. 林正健二編（2016）ナーシング・グラフィカ「解剖生理学」, メディカ出版
2. 安谷屋均著（2016）書いて覚える解剖生理ワークブック, 照林社
3. 坂井建雄、橋本尚詞著（2010）ぜんぶわかる人体解剖図, 成美堂出版

### 【参考書】

1. 生理学会教育委員会編（2015）看護師国家試験解剖生理学クリアブック, 医学書院

### 【評価方法・評価基準】

1. 筆記試験 70%
2. 提出物 20%
3. 授業参加態度 10%

### 【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：予習用パワーポイント資料を確認しておくこと。

事後学習：学生公開用パワーポイント資料を用いて復習しておくこと。ワークブックやクリアブックを用いて知識の確認を怠らない。

### 【教育目標（必須要素）との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ. 教養教育で培う普遍的基礎能力、Ⅲ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅳ. テクノロジーを効果的に活用する能力、Ⅷ. 生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

### 【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

提出物や課題レポートについては、授業中に傾向について示しフィードバックを行う。

### 【備考】

この科目は、全ての医療系科目、実習に関連する為、真摯に学習に取り組むこと。